

BLITZ

TV JUMPER

TV-NAVI JUMPER

取 扱 説 明 書

この度は、BLITZ『TV JUMPER』『TV-NAVI JUMPER』をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に必ず本取扱説明書をよくお読みの上、正しく使用してください。
製品の保証については同梱の保証書をご参照ください。

- 自動車ディーラー入庫時について
- 本製品を装着すると車両の保証や点検が受けられない場合があります。
車検、点検などの目的で車両を自動車ディーラーなどに入庫する場合は、本製品を取り外してから入庫してください。

注意記号

⚠危険	この表示を無視して、誤ったご使用をすると、身体や財産に重大な被害が発生する可能性が想定される内容であることを示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤ったご使用をすると、法律に違反する可能性が想定される内容であることを示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り付けをすると、怪我もしくは車両および製品の故障・破損の発生が想定される内容であることを示しています。
⚠重要	本製品を使用する上で知っておいて頂きたいことを示しています。

作業に伴う注意事項（必ずお読みください）

⚠注意	取り付けの際には必ずエンジン停止し、5分以上経過してからバッテリーのマイナス端子を外し作業を行ってください。 また、オーディオや時計機能などのメモリー内容が消えてしまいますので、あらかじめメモを取るなどして作業完了後に再度設定を行ってください。
⚠注意	車両内装のパネル、および部品などを外す場合は、破損、汚損、およびネジなどの紛失に十分注意して作業を行ってください。
⚠注意	コネクタを外す際は、コネクタのロックをしっかりと押さえ、まっすぐに引き抜いてください。 無理に引っ張るとユニット内部の基板やコネクタの破損、ハーネスの断線の原因となります。
⚠注意	ハーネスの接続はコネクタがロックするまでしっかりと差し込み、接続不良が起こらないよう注意してください。
⚠注意	本製品の本体ユニットやハーネスは車両側の適切な場所にテープやタイラップを使用して固定してください。 固定しないと配線の断線や接触不良、本体ユニットの干渉による異音発生の原因となります。
⚠注意	本製品を取り付けの際には、シートレール、ベダル類、ドアなど可動部にハーネス類や本体を挟み込んだり、また挟まる可能性のある場所には絶対に固定しないでください。本製品の破損や断線による事故、火災、感電などの恐れがあります。
⚠危険	取り付け終了後に走行テストを行う際は、必ず2名乗車し、助手席の方が操作を行ってください。
⚠注意	アース線の接続を必要とする商品の場合、接続が不十分だと本製品は正常に動作致しません。 必ずボディアースであることを確認して接続してください。
⚠注意	コンパクトスイッチ付属の商品は必ずスイッチを接続しなければ、走行中のTVの視聴、ナビの目的地設定を行うことができません。
⚠重要	外した純正部品は、捨てずに保管してください。
⚠重要	あらかじめ取り付けを行う車両の内装脱着要領の資料を手配し、慎重に作業を行ってください。
⚠重要	本製品取り付けのためにバッテリーのマイナス端子を取り外す前に、車両のセキュリティ設定の確認と解除を行ってください。 セキュリティの解除が行われなかった場合には、ロックが解除できず使用できなくなる可能性があります。
⚠重要	本製品は、必ずバッテリーのマイナス端子を取り外してから、取り付け作業を行ってください。 バッテリーを外さずに作業を行った場合、特定DTCが記録され、車検不適合となる可能性があります。

ご使用上の注意事項（必ずお読みください）

⚠危険	本製品は運転者以外の同乗者が、走行中にTVの視聴、ナビゲーションの目的地設定を行うための製品です。 運転者は運転中、絶対にTVを見ないでください。また、目的地設定などのナビゲーションの操作も行わないでください。
⚠警告	運転者は走行中にナビゲーションのモニター画面を注視すると安全運転義務違反となりますので、絶対に注視しないでください。 また、同乗者がいない場合の走行中のTV視聴は安全運転義務違反となりますので、絶対にTVを視聴しないでください。
⚠重要	走行中にTV画面からナビゲーションの地図画面へ切り替えると、車両の現在位置と地図上の自車位置にズレが生じる場合があります。
⚠重要	走行中は電波の受信状況が悪くなるため、停車時に比べてTVの映りが悪くなります。
⚠重要	本製品使用中に発生した事故・違反行為・車両の故障または損害などの責任については、一切保証いたしかねます。 予めご了承ください。
⚠注意	エンジンの停止やキーのロックを行っても、コンパクトスイッチのLEDがしばらく点灯し続け、コンパクトスイッチが操作できる状態のままとなる場合がありますが、本製品の不具合ではありません。（CANタイプのみ） 車両のCAN通信によるもので、しばらくするとコンパクトスッチのLEDは消灯します。
⚠重要	ディーラーや販売店によっては、本製品を取り付けた状態では車両の保証や点検を受けられない場合があります。 入庫する際には、本製品を取り外してから入庫してください。
⚠重要	本製品を取り付けた状態で点検整備やリコール、サービスキャンペーンなどの作業を受けた際に、作業の内容によっては本製品やナビゲーションの故障や不具合が発生する場合があります。入庫する際には、必ず本製品を取り外してから入庫してください。
⚠重要	自動車メーカーによる車両の仕様変更や、ナビゲーションシステムのアップデートにより、ナビゲーションの制御方法が変更された場合、本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

動作上の注意事項（必ずお読みください）

⚠重要	「TV JUMPER」が適合となっていない、ナビゲーションの操作が可能となる車両があります。 詳しくは、本製品の適合表をご確認ください。
⚠注意	走行中にTV画面からナビゲーションの地図画面へ切り替えると、車両の現在位置と地図上の自車位置にズレが生じる場合があります。 その場合は本製品をOFFにし、しばらく走行するとGPSを受信し、自動的に自車位置が修正されます。 停車中は正確に自車位置を修正できませんので、必ず走行してください。
⚠注意	本製品をONにした時点で、ナビゲーションの自車位置が不正確となる車両があります。 ノーマルモードに切り替えて、しばらく走行すると正常動作に戻ります。
⚠注意	本製品がOFF状態ではコンパクトスイッチのLEDが淡く点灯します。この状態はノーマルと同じ状態ですので、TVの視聴およびナビゲーションの目的地設定などの操作は行うことができません。（一部商品除く）
⚠重要	本製品使用時に一部車両でメンテナンスモニターやエネルギーモニター画面上のタイヤの回転が停止する場合があります。
⚠重要	本製品使用時に一部車両でメンテナンス機能が正常に動作しなくなる（表示に誤差が生じる）場合があります。
⚠注意	スマートフォンを接続する『Apple CarPlay』『Android Auto』のアプリ動作については、未確認となります。

製品についてのご相談及びお問い合わせについて

製品に関するお問い合わせ、連絡は電話にてお願い致します。

ⓧ連絡先 株式会社ブリッツ サポートセンター

ⓧ住所 東京都西東京市新町4-7-6

ⓧTEL 0422-60-2277

<http://www.blitz.co.jp/>

Q & A

Q：コンパクトスイッチは接続しなくても使用可能ですか？

A： コンパクトスイッチが同梱されている品番は、モードの切り替えを行わない場合でも、必ずコンパクトスイッチを接続して使用してください。

Q：走行中の DVD や Blu-ray の視聴は可能ですか？

A： ナビゲーション、オーディオユニットに DVD や Blu-ray の再生機能がある場合は DVD や Blu-ray が視聴可能です。可否については本製品の適合表をご確認ください。

Q：製品を取り付けた状態で車検は通りますか？

A： 自動車ディーラーでは本製品を装着すると車両の保証や点検が受けられない場合があります。車検、点検などの目的で車両を自動車ディーラーなどに入庫する場合は、本製品を取り外してから入庫してください。

Q：エンジンを停止してもコンパクトスイッチの LED が消えませんか。故障ですか？

A： CAN タイプの品番が適合する車両の場合、エンジンを停止してもしくは CAN 通信が行われています。CAN 通信が停止するとコンパクトスイッチの LED も消灯します。メーカーや車種によって通信が停止するまでの時間が異なり、最大で 15 分程度かかる場合があります。

Q：コンパクトスイッチが点滅しています。

A： ナビモードがある品番の場合、ナビモード時はコンパクトスイッチが 1 秒間隔で点滅動作をします。CAN タイプの品番でコンパクトスイッチが約 0.5 秒間隔で高速点滅状態になった場合、車両との CAN 通信が正常に行えていません。エンジンを再始動し、車両の CAN 通信を正確に認識することで通常の動作モードに移行します。

Q：バッテリーのマイナス端子を取り外す際に注意することはありますか？

A： バッテリーのマイナス端子を取り外す前に、車両の設定やナビゲーションのセキュリティの設定状況の確認と解除を行ってください。セキュリティの解除が行われなかった場合、ロックが解除できず使用できなくなる可能性があります。

Q：製品を取り付けてからアイドリングストップが動作しなくなりました。故障ですか？

A： 取り付けの際にバッテリーのマイナス端子を外すことで、一時的にアイドリングストップやパワーウィンドウなどの学習などリセットされてしまう車両があります。機能の復帰には初期学習が必要となりますので、あらかじめ自動車販売店などで、資料をご準備の上、作業を行ってください。

Q：ナビゲーションや車両システムのアップデートに出す際の注意点はありますか？

A： ナビゲーションや車両システムのアップデートなどで自動車ディーラーに入庫する場合は本製品を取り外してから入庫してください。本製品を取り付けた状態でアップデートを行った場合、本製品が破損する可能性が考えられます。また、システムのアップデートにより制御方法が変更され、本製品が正常に動作しなくなる場合があります。

Q：『Apple CarPlay』『Android Auto』などのスマホ連携アプリは使用できますか？

A： スマートフォンを接続する『Apple CarPlay』『Android Auto』のアプリ連携については、動作未確認となります。『Apple CarPlay』『Android Auto』を使用する場合は本製品を OFF にして使用してください。

BLITZ

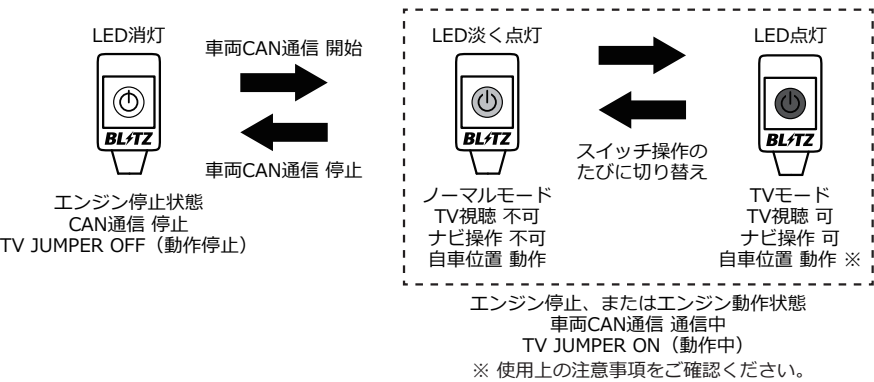
NCT52

操作・取付説明書

キット内容

・ 本体ユニット	×1	・ 両面テープ	×1
・ TVハーネス	×1	・ 取扱説明書	×1
・ コンパクトスイッチ	×1	・ 保証書	×1
・ コンパクトスイッチアダプター	×1		

コンパクトスイッチ動作

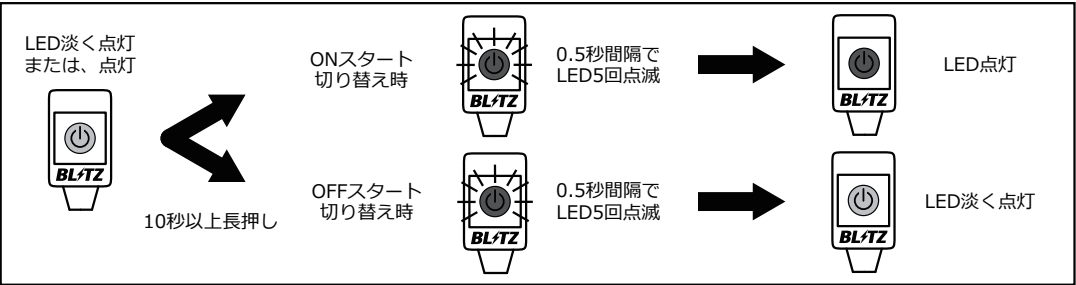


▲ 注意

本製品が適合する車両はエンジンを停止しても車両のCAN通信がすぐに停止しないため、コンパクトスイッチのLEDはしばらく点灯し続け、コンパクトスイッチが操作できる状態のままとなります。車両をドアロックして一定時間が経過するか、ドアの開閉、ペダルや車内のスイッチ類の操作が一定時間行われなければ、車両のCAN通信が停止し、コンパクトスイッチのLEDも消灯します。また、コンパクトスイッチのLEDが消灯状態でエンジンを始動していなくても、車両のドアロックの解除やドアの開閉、ペダルや車内のスイッチ類の操作が行われると、車両のCAN通信が開始され、コンパクトスイッチのLEDが点灯しますが、製品の不具合ではありません。

ONスタート / OFFスタート切り替え

本製品はエンジン始動時にコンパクトスイッチを10秒以上長押しすることで、TV JUMPERのONスタート/OFFスタートを切り替えることで、ONスタートにすることで、エンジン始動時からTVが視聴可能状態となります。コンパクトスイッチの10秒以上長押しの操作を行うたびに、ONスタート/OFFスタートが切り替わります。



キット接続説明

本製品の本体ユニットは下記の通り接続してください。

- ・ 2極コネクタ ・・・ 使用しません
- ・ 3極コネクタ ・・・ コンパクトスイッチ
- ・ 8極コネクタ ・・・ TVハーネス

本体ユニット

8極 3極 2極

注意事項

▲ 取り付け時の注意事項 ▲

本製品は、必ずバッテリーのマイナス端子を取り外してから、取り付け作業を行ってください。バッテリーを外さずに作業を行った場合、特定 DTC（エラーコード）が記録され、車検不適合となる可能性があります。また、作業終了後に必ず故障診断機を使用して、DTC（エラーコード）の確認と必要に応じて消去を行ってください。

▲ 使用上の注意事項 ▲

本製品を TV モード（TV 視聴可能状態）で使用する場合、自社位置の動きが下記のような状態となりますが異常ではございません。予めご了承ください。
ナビゲーション使用時は必ずノーマルモード（TV 視聴不可状態）でご使用ください。
・ 自車位置が純正のように滑らかではなく、若干精度も悪くなります。
・ 並走する道路がある場合、カーブや分岐地点などで並走する道路にズレて進んでしまう場合があります。この場合、並走区間が終了するまで、現在走行している道路に戻らない場合があります。
・ トンネルや GPS が受信できない場所を走行すると、ナビゲーションの自車位置の動作が停止する場合があります。GPS を再度受信するとナビゲーションの自車位置が動き出し、正常な位置に戻ります。
・ ルート案内の際、音声案内がナビ画面に表示される残り距離と異なる距離の案内となる場合があります。
・ Toyota Safety Sense および、トヨタチームメイトの一部システムが正常に動作しない場合があります。
・ ルートガイドを使用中に表示されたルートを逸れると、リルートしない場合があります。
・ 車両停止時および発進時に、テレビ画面が一瞬ナビ画面などに遷移する場合があります。
・ 自動車メーカーの仕様変更や、車両、ナビゲーションのシステムアップデートが行われた場合、本製品が正常に動作しなくなる場合があります。

▲ ナビゲーションの地図データ更新中の使用について ▲

本製品が適合するナビゲーションはマップオンデマンドのサービスにより、地図データの更新がバックグラウンドで自動的に行われます。本製品が TV モード（TV 視聴可能状態）の状態では地図の更新が始まった場合、地図画面に切り替える操作を行っても「地図画面に切り替わらない」「地図画面が真っ暗」、また「ナビが再起動する」といった症状が発生する場合があります。この場合は本製品を OFF（TV 視聴不可状態）にして、地図の更新が完了後、ナビゲーションの再起動を行ってから本製品を使用してください。また、マルチインフォメーションディスプレイに地図情報を表示している場合は、上記症状の発生頻度が高くなる傾向があります。マルチインフォメーションディスプレイの表示を地図表示以外の表示に切り替えることで症状の発生頻度が低減します。
ナビゲーションの地図データの更新タイミングは、更新の対象となる道路や場所によって変化します。

ナビゲーションの地図データの更新状況については、下記画面でご確認いただけます。
メインメニュー → ナビゲーション → 地図更新

▲ Apple CarPlay、Android Auto の使用について ▲

本製品を TV モード時（TV 視聴可能状態）で使用了場合、「Apple CarPlay」、「Android Auto」内の自車位置を使用するアプリは正常に動作しません。「Apple CarPlay」、「Android Auto」を使用する際には本製品を OFF（TV 視聴不可状態）で使用してください。

注意事項

⚠ ASL 機能について ⚠

本製品を TV モード時（TV 視聴可能状態）で使用した場合、車速に応じて音量を調整する ASL の機能が正常に動作しない場合があります。オーディオの音量が安定しないなど正常に動作しない場合は必要に応じて ASL の機能を OFF にするか、本製品を OFF（TV 視聴不可状態）にしてください。

⚠ 純正ドライブレコーダーについて（搭載車のみ） ⚠

本製品は TV モード時（TV 視聴可能状態）ではナビゲーションの自車位置の動作が純正とは異なるため、標準装備およびメーカーオプションのドライブレコーダーで記録したデータの位置情報が不正確となる場合があります。「手動録画」「イベント録画」「駐車中の録画」の「録画地点」で地図上に表示されるアイコンが、実際に録画した地点とは異なる場所に表示される場合があります。録画日時や走行速度は正確な情報が記録されます。

⚠ 機能停止のエラー表示が出た場合について ⚠

本製品を TV モード（TV 視聴可能状態）で走行中に、右写真のような機能停止のエラー表示が出た場合は、本製品を OFF（TV 視聴不可状態）にし、ナビゲーションの自車位置と動作が正常な状態に戻った後、安全な場所に車両を停車し、エンジンの再始動を行い、エラー表示を消してください。
エラー表示が出たままの状態でも車両の走行は可能ですが、レーダークルーズコントロールや Advanced Drive（渋滞時支援）などの Toyota Safety Sense、トヨタチームメイトの一部の運転支援システムが使用できない状態となっていますので、ご注意ください。



ブレーキホールドについて

車両のブレーキホールド機能を ON にし、信号停止などでブレーキホールド機能が作動した場合に右写真のような確認画面が表示されます。
確認画面を表示しないようにするためには、ナビゲーションの設定で確認画面の表示有無の設定を変更してください。詳しくは、ナビゲーションシステム取扱書をご確認ください。



▲ 注意

- ・バッテリーのマイナス端子を外す作業を行う際は、IG-OFF後、6分以上経過してから、バッテリーの取り外し作業を行ってください。
- ・ナビゲーションのセキュリティロックの設定が有効になっている場合、作業後にパスワードの入力が必要となります。あらかじめセキュリティロックの設定をOFFにするか、作業後に使用者様にパスワードの入力を依頼してください。
- ・ACCカスタマイズの設定をONにして作業を行ってください。
- ・バッテリーのマイナス端子を外すとeラッチシステムでドア開閉が行えなくなり、キー閉じ込みとなります。車両の窓を開けた状態で、キーを常に携帯して作業を行ってください。
- ・本製品は、必ずバッテリーのマイナス端子を取り外してから、取り付け作業を行ってください。バッテリーを外さずに作業を行った場合、特定DTC（エラーコード）が記録され、車検不適合となる可能性があります。

- ① バッテリーのマイナス端子を外します。
- ② かん合（14 か所）を外し、コンソールアップパネルガーニッシュ（右）を取り外してください。（図 A）同様にかん合（15 か所）を外して左側も取り外してください。
- ③ かん合（2 か所）とコネクタ類を外し、スイッチホールベース ASSY を取り外してください。（図 B）
- ④ シフトノブを反時計回りに回して取り外してください。
かん合（8 か所）とコネクタ類を外し、コンソールパネル ASSY を取り外してください。（図 C）
- ⑤ かん合（2 か所）を外し、コンソールボックス ASSY を取り外してください。（図 D）
- ⑥ ラジオレシーバー ASSY の下側のボルト（4 か所）を外し、（図 E）かん合（6 か所）を外して、ディスプレイと一体でラジオレシーバー ASSY を引き出してください。（図 F）



図 A



図 B

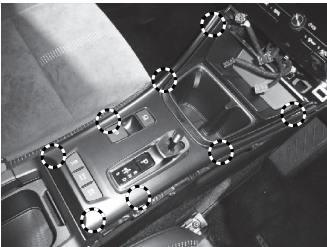


図 C



図 D

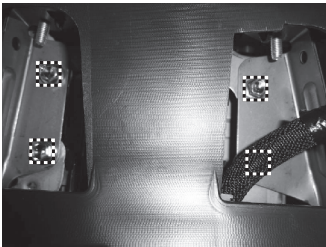


図 E

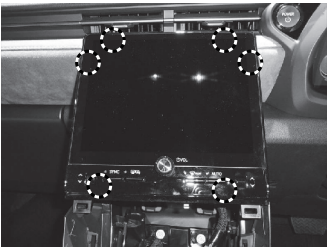
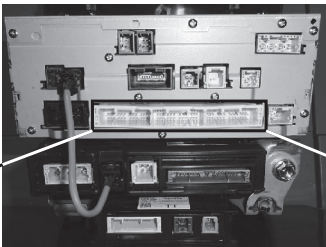


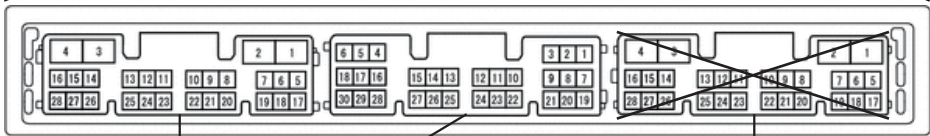
図 F

- ⑦ ラジオレシーバー ASSY の 30 極、28 極コネクタに本製品の TV ハーネスを接続してください。（図 G）
- ⑧ 適当な場所へ本製品本体を収納してください。
- ⑨ 配線の潰れや金属部分への接触がないか確認しながら戻してください。
- ⑩ バッテリーのマイナス端子を取り付けます。
- ⑪ 動作確認をして、正常なことが確認できましたら、取り外した内装などを全て元に戻して作業終了です。
- ⑫ 最後に故障診断機で DTC（エラーコード）が入っていないかを確認し、必要に応じて消去してください。



▼ 注意 ▼
ラジオレシーバー ASSY を背面から見ています。左右の間違いにご注意ください。

図 L



28 極コネクタ 30 極コネクタ
中央と左側（運転席側）に
本製品のハーネスを接続してください。

28 極コネクタ
右側（助手席側）には
本製品のハーネスは接続しません。

取り付け後の学習、再設定作業

バッテリー端子を外す事でシステムの学習が一部リセットされます。必要に応じて学習を行ってください。事前に自動車ディーラーに必要な学習、再設定方法を確認してから作業を行うことをお勧めします。下記は一例となります。

- ★e ラッチシステム（バックドアオープン）
ドアコントロールスイッチまたは、電子キーによるドアアンロック操作を行う。
- ★フロントカメラシステム、アダプティブハイビームシステム
車速 35km/h 以上で 5 秒以上直進走行する
- ★パワーバックドアシステム
バックドアを手動で全開にする。

NX250/350/350h/450h+ (R3.11- #AZA20/25, AAZH20/25/26)

▲ 注意

- ・バッテリーのマイナス端子を外す作業を行う際は、IG-OFF後、6分以上経過してから、バッテリーの取り外し作業を行ってください。
- ・ナビゲーションのセキュリティロックの設定が有効になっている場合、作業後にパスワードの入力が必要となります。あらかじめセキュリティロックの設定をOFFにするか、作業後に使用者様にパスワードの入力を依頼してください。
- ・ACCカスタマイズの設定をONにして作業を行ってください。
- ・バッテリーのマイナス端子を外すとeラッチシステムでドア開閉が行えなくなり、キー閉じ込みとなります。車両の窓を開けた状態で、キーを常に携帯して作業を行ってください。
- ・本製品は、必ずバッテリーのマイナス端子を取り外してから、取り付け作業を行ってください。バッテリーを外さずに作業を行った場合、特定DTC（エラーコード）が記録され、車検不適合となる可能性があります。

- ① バッテリーのマイナス端子を外します。
- ② かん合（5 か所）を外し、インストルメントフィニッシュパネルを取り外してください。（図 A）
- ③ かん合（4 か所）を外し、コンソールアップパーパネルを取り外してください。（図 B）
- ④ シフトノブを反時計回りに回して取り外してください。
かん合（4 か所）とコネクタ類を外し、シフトホールドカバーを取り外してください。（図 C）
- ⑤ かん合（2 か所）を外し、コンソールボックスホルルカバーを取り外してください。（図 D）
- ⑥ かん合（11 か所）とコネクタ類を外し、コンソールアップパガーニッシュ右を取り外してください。（図 E）
- ⑦ かん合（9 か所）を外し、コンソールアップパガーニッシュ左を取り外してください。（図 F）
- ⑧ かん合（7 か所）を外し、コンソールパネル SUB ASSYを取り外してください。（図 G）
- ⑨ かん合（4 か所）とコネクタ類を外し、コンソールパネルを取り外してください。（図 H）

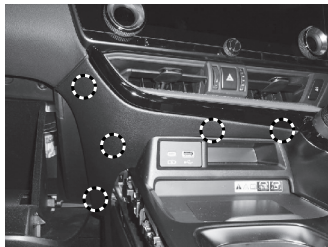


図 A

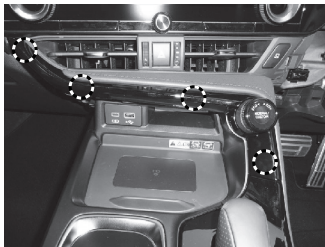


図 B

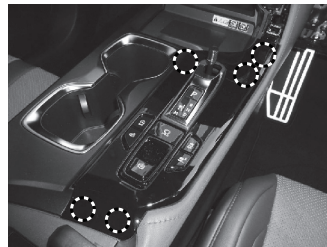


図 C

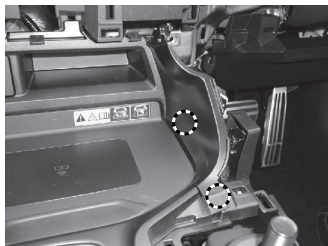


図 D

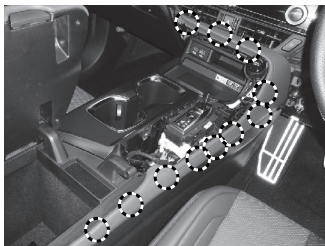


図 E

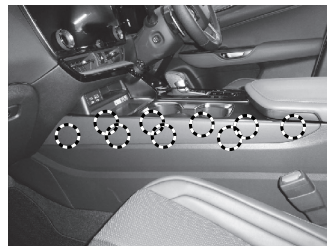


図 F

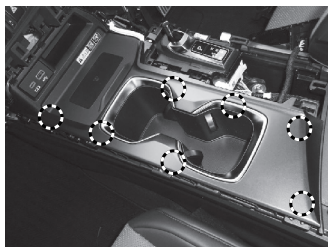


図 G



図 H

○ かん合 ● ボルト

NX250/350/350h/450h+ (R3.11- #AZA20/25, AAZH20/25/26)

- ⑩ 運転席アンダーカバーのネジ（1 か所）を外し、アンダーカバーを図 J のように浮かせ、かん合（5 か所）を外して、インストルメントフィニッシュパネルを取り外してください。（図 I）
- ⑪ かん合（5 か所）とコネクタ類を外し、インストルメントレジスタ ASSY を取り外してください。（図 K）
- ⑫ ラジオレシーバー ASSY を下から見て、30、28 極コネクタに TV ハーネスを接続してください。（図 L）
- ⑬ 適当な場所へ本製品本体を収納してください。
- ⑭ 配線の潰れや金属部分への接触がないか確認しながら戻してください。
- ⑮ バッテリーのマイナス端子を取り付けます。
- ⑯ 動作確認をして、正常なことが確認できましたら、取り外した内装などを全て元に戻して作業終了です。
- ⑰ 最後に故障診断機で DTC（エラーコード）が入っていないかを確認し、必要に応じて消去してください。

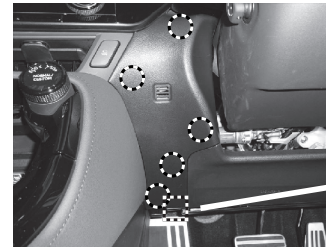


図 I



図 J

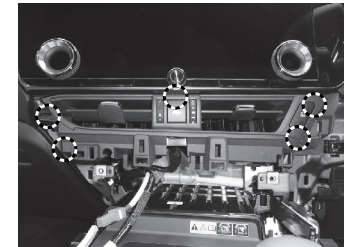
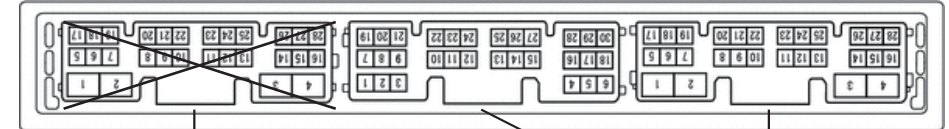


図 K



図 L

▼ 注意 ▼
ラジオレシーバー ASSY を
正面下側から見えています。
左右の間違いにご注意ください。



28 極コネクター

左側（助手席側）には
本製品のハーネスは接続しません。

30 極コネクター

中央と右側（運転席側）に
本製品のハーネスを接続してください。

取り付け後の学習、再設定作業

バッテリー端子を外す事でシステムの学習が一部リセットされます。必要に応じて学習を行ってください。事前に自動車ディーラーに必要な学習、再設定方法を確認してから作業を行うことをお勧めします。下記は一例となります。

★ストップアンドスタートシステム

約 5 ～ 60 分、ストップアンドスタート制御が作動するまで車両を走行する。

★フロントカメラシステム、アダプティブハイビームシステム

車速 35km/h 以上で 5 秒以上直進走行する

★パワーバックドアシステム

バックドアを手動で全閉にする。

RX350/450h+/500h (R4.11- TALA10/15, AALH16, TALH17)

注意

- ・バッテリーのマイナス端子を外す作業を行う際は、IG-OFF後、6分以上経過してから、バッテリーの取り外し作業を行ってください。
- ・ナビゲーションのセキュリティロックの設定が有効になっている場合、作業後にパスワードの入力が必要となります。あらかじめセキュリティロックの設定をOFFにするか、作業後に使用者様にパスワードの入力を依頼してください。
- ・ACCカスタマイズの設定をONにして作業を行ってください。
- ・バッテリーのマイナス端子を外すとeラッチシステムでドア開閉が行えなくなり、キー閉じ込みとなります。車両の窓を開けた状態で、キーを常に携帯して作業を行ってください。
- ・本製品は、必ずバッテリーのマイナス端子を取り外してから、取り付け作業を行ってください。バッテリーを外さずに作業を行った場合、特定DTC（エラーコード）が記録され、車検不適合となる可能性があります。

- ① バッテリーのマイナス端子を外します。
- ② かん合（11 か所）を外し、左右のコンソールアップパーパネルを取り外してください。（図 A、B）
- ③ かん合（8 か所）とコネクタ類を外し、インストルメントレジスタ ASSY を取り外してください。（図 C）
- ④ ラジオレシーバー ASSY を下からのぞき、30 極、28 極コネクタに本製品の TV ハーネスを接続してください。（図 D）
- ⑤ 適当な場所へ本製品本体を収納してください。
- ⑥ 配線の濡れや金属部分への接触がないか確認しながら戻してください。
- ⑦ バッテリーのマイナス端子を取り付けます。
- ⑧ 動作確認をして、正常なことが確認できましたら、取り外した内装などを全て元に戻して作業終了です。
- ⑨ 最後に故障診断機で DTC（エラーコード）が入っていないかを確認し、必要に応じて消去してください。

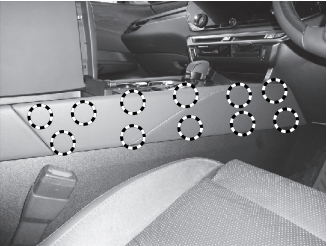


図 A

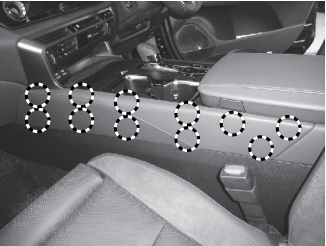


図 B

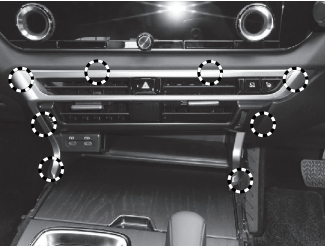


図 C

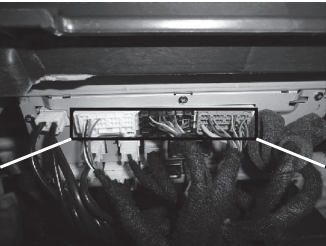
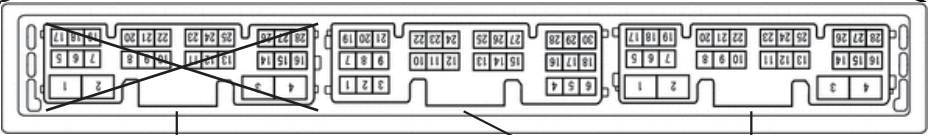


図 D

▼ 注意 ▼
ラジオレシーバー ASSY を
正面下側から見ています。
左右の間違いにご注意ください。



28 極コネクタ

左側（助手席側）には
本製品のハーネスは接続しません。

30 極コネクタ

中央と右側（運転席側）に
本製品のハーネスを接続してください。

28 極コネクタ

かん合 ボルト

取り付け後の学習、再設定作業

バッテリー端子を外す事でシステムの学習が一部リセットされます。必要に応じて学習を行ってください。事前に自動車ディーラーに必要な学習、再設定方法を確認してから作業を行うことをお勧めします。下記は一例となります。

★ストップアンドスタートシステム

約 5 ～ 60 分、ストップアンドスタート制御が作動するまで車両を走行する。

★フロントカメラシステム、アダプティブハイビームシステム、ライティングシステム

車速 35km/h 以上で 5 秒以上直進走行する

★パワーバックドアシステム

バックドアを手動で全閉にする。

RZ450e (R5.3- XEBM15)

注意

- ・バッテリーのマイナス端子を外す作業を行う際は、IG-OFF後、6分以上経過してから、バッテリーの取り外し作業を行ってください。
- ・ナビゲーションのセキュリティロックの設定が有効になっている場合、作業後にパスワードの入力が必要となります。あらかじめセキュリティロックの設定をOFFにするか、作業後に使用者様にパスワードの入力を依頼してください。
- ・ACCカスタマイズの設定をONにして作業を行ってください。
- ・バッテリーのマイナス端子を外すとeラッチシステムでドア開閉が行えなくなり、キー閉じ込みとなります。車両の窓を開けた状態で、キーを常に携帯して作業を行ってください。
- ・本製品は、必ずバッテリーのマイナス端子を取り外してから、取り付け作業を行ってください。バッテリーを外さずに作業を行った場合、特定DTC（エラーコード）が記録され、車検不適合となる可能性があります。

- ① バッテリーのマイナス端子を外します。
- ② かん合（9 か所）を外し、左のコンソールアッパーパネルガーニッシュを取り外してください。（図 A）
- ③ かん合（7 か所）を横方向に引いて外し、後方に引いて右のコンソールアッパーパネルガーニッシュを取り外してください。（図 B）
- ④ かん合（7 か所）とコネクタ類を外し、コンソールパネル ASSY を取り外してください。（図 C）
- ⑤ かん合（6 か所）とコネクタ類を外し、インストルメントパネルフィニッシュパネルを取り外してください。（図 D、E）

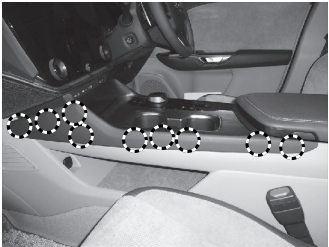


図 A

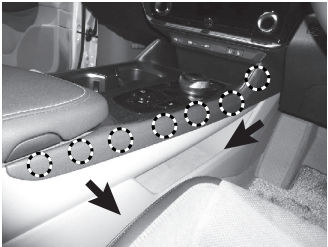


図 B

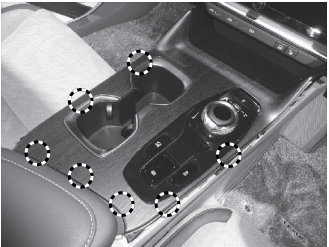


図 C

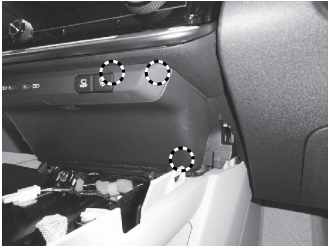


図 D

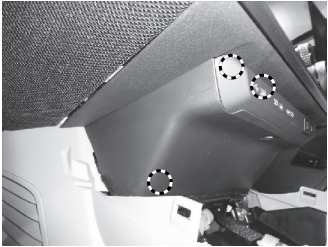
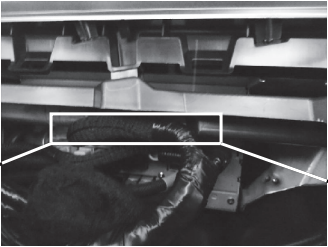


図 E

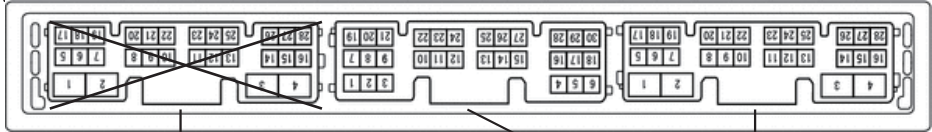
RZ450e (R5.3- XEBM15)

- ⑥ ラジオレシーバー ASSY を下からのぞき、30 極、28 極コネクタに本製品の TV ハーネスを接続してください。（図 D）
- ⑦ 適当な場所へ本製品本体を収納してください。
- ⑧ 配線の潰れや金属部分への接触がないか確認しながら戻してください。
- ⑨ バッテリーのマイナス端子を取り付けます。
- ⑩ 動作確認をして、正常なことが確認できましたら、取り外した内装などを全て元に戻して作業終了です。
- ⑪ 最後に故障診断機で DTC（エラーコード）が入っていないかを確認し、必要に応じて消去してください。



▼ 注意 ▼
ラジオレシーバー ASSY を
正面下側から見ています。
左右の間違いにご注意ください。

図 D



28 極コネクタ

左側（助手席側）には
本製品のハーネスは接続しません。

30 極コネクタ

中央と右側（運転席側）に
本製品のハーネスを接続してください。

取り付け後の学習、再設定作業

バッテリー端子を外す事でシステムの学習が一部リセットされます。必要に応じて学習を行ってください。事前に自動車ディーラーに必要な学習、再設定方法を確認してから作業を行うことをお勧めします。下記は一例となります。

- ★e ラッチシステム（バックドアオープナ）
ドアコントロールスイッチまたは、電子キーによるドアアンロック操作を行う。
- ★フロントカメラシステム、アダプティブハイビームシステム、ライティングシステム
車速 35km/h 以上で 5 秒以上直進走行する。
- ★パワーバックドアシステム
バックドアを手動で全閉にする。

クラウンセダン（R5.11- AZSH32、KZSM30）

▲ 注意

- ・バッテリーのマイナス端子を外す作業を行う際は、IG-OFF後、6分以上経過してから、バッテリーの取り外し作業を行ってください。
- ・ナビゲーションのセキュリティロックの設定が有効になっている場合、作業後にパスワードの入力が必要となります。あらかじめセキュリティロックの設定をOFFにするか、作業後に使用者様にパスワードの入力を依頼してください。
- ・ACCカスタマイズの設定をONにして作業を行ってください。
- ・本製品は、必ずバッテリーのマイナス端子を取り外してから、取り付け作業を行ってください。バッテリーを外さずに作業を行った場合、特定DTC（エラーコード）が記録され、車検不適合となる可能性があります。

- ① バッテリーのマイナス端子を外します。
- ② かん合（8 か所）を外し、コンソールアッパーパネルガーニッシュを上方向に取り外してください。（図 A）
- ③ かん合（10 か所）とビス（1 か所）とコネクタを外し、インストルメントパネルフィニッシュパネルを取り外してください。（図 B）
- ④ かん合（10 か所）を外し、インストルメントパネルパッド ASSY を浮かせ、（図 C、D）デザークリップを押し込んで抜いて取り外してください。（図 E）
- ⑤ かん合（9 か所）とコネクタ類を外し、エアコンコントロール ASSY を取り外してください。（図 F）
- ⑥ かん合（8 か所）を外し、インストルメントサイドパネル右を取り外してください。（図 G）
- ⑦ かん合（3 か所）を外し、インストルメントパネル SUB ASSY の上部を浮かせてください。（図 H）
- ⑧ かん合（5 か所）を外し、サイドデフロスタノズルを手前に引いて取り外してください。（図 I）
- ⑨ かん合（16 か所）とコネクタ類を外し、インストルメントクラスタフィニッシュパネルを取り外してください。（図 J、K、L）

○ かん合 □ ポルト

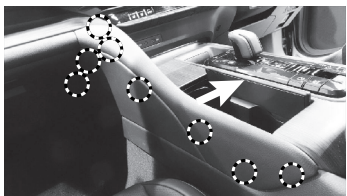


図 A

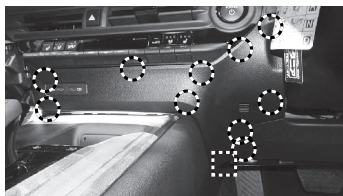


図 B



図 C

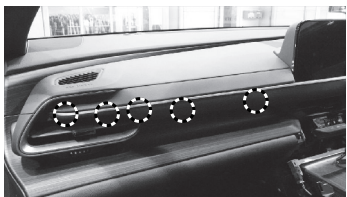


図 D

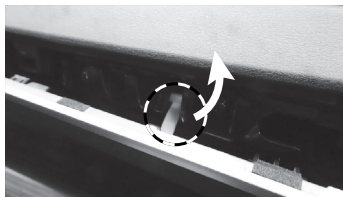


図 E

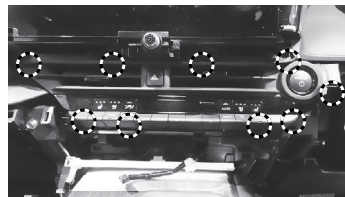


図 F



図 G

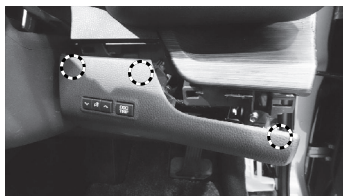


図 H

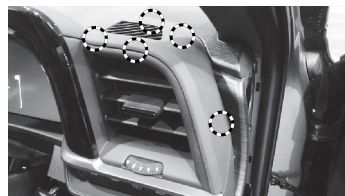


図 I



図 J

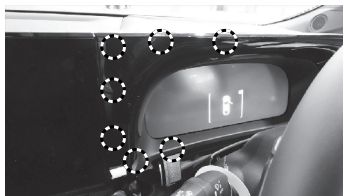


図 K

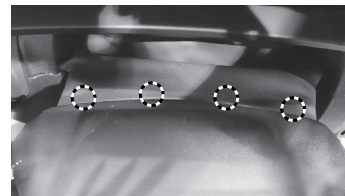


図 L

クラウンセダン（R5.11- AZSH32、KZSM30）

- ⑩ ラジオレシーバー ASSY 下側のボルト（4 か所）を外し、かん合（6 か所）を外して、ラジオレシーバー ASSY を引き出してください。（図 M、N）
- ⑪ ラジオレシーバー ASSY の 30 極、28 極コネクタに本製品の TV ハーネスを接続してください。（図 O）
- ⑫ 適当な場所へ本製品本体を収納してください。
- ⑬ 配線の濡れや金属部分への接触がないか確認しながら戻してください。
- ⑭ バッテリーのマイナス端子を取り付けます。
- ⑮ 動作確認をして、正常なことが確認できたら、取り外した内装などを全て元に戻して作業終了です。
- ⑯ 最後に故障診断機で DTC（エラーコード）が入っていないかを確認し、必要に応じて消去してください。

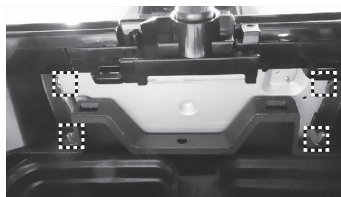


図 M



図 N

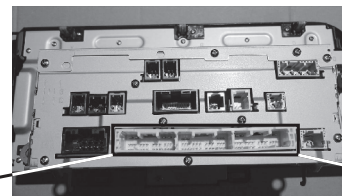
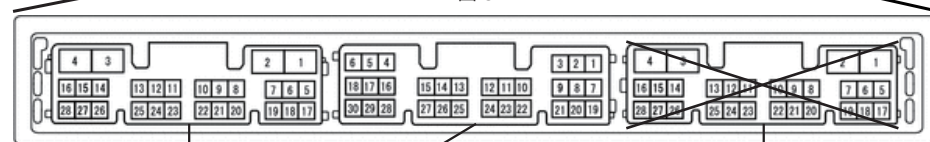


図 O

▼ 注意 ▼
ラジオレシーバー ASSY を背面から見ています。左右の間違いにご注意ください。



28 極コネクタ 30 極コネクタ
中央と左側（運転席側）に
本製品のハーネスを接続してください。

28 極コネクタ
右側（助手席側）には
本製品のハーネスは接続しません。

取り付け後の学習、再設定作業

バッテリー端子を外す事でシステムの学習が一部リセットされます。必要に応じて学習を行ってください。事前に自動車ディーラーに必要な学習、再設定方法を確認してから作業を行うことをお勧めします。下記は一例となります。

★フロントカメラシステム、アダプティブハイビームシステム
車速 35km/h 以上で 5 秒以上直進走行する

★パワートランクリッドシステム
トランクリッドを手動で全閉にする。